

て作らせた。丁度二枚づゝ四つで八枚かけた。葉の色も地色も幼児が一人で考へてぬつたのであるが、黄色い葉とみどりの葉と二色を交互にぬつて、地色は褐色にしたところおちついたよい感じであつた。

次に二枚のいてふの葉を葉柄のところを組み合せて、蝶々の様な形において見せた。これは御遊戯の時に二人づゝ幼児たちが手をつないで歩いてゐる形からとつた。一組を上向におき、一組を下向においてみた。この上向、下向の蝶々を適當に案配すると丁度簡単な四方連続模様になるわけである。黄色のいてふの葉に、もゝ色の地色で可愛らしい。着替へ人形の着物に丁度よいものが出来上つた。

こんな仕事をしてゐると、いつもたゞ深山おちてゐるいてふの葉をばんやり拾ひあつめてゐたときよりも、形の上にも、色の上にも観察が細かく出来て、模様につくる時にその観察が直ぐに間にあつて仕事の上にはあらはれて来るのである。又数の事なども實際についてはつきりと數へなければならなくなつてきて精確になつて来る。

又模様材料についても幼児自身でいろ／＼と考へて材料になりそうな實物を探し出す様になる。

いてふで模様を作つてゐるうちに誰かどんぐりの模様がよいと云ひ出した。もう少し時期がおそいかとも考へたが折角云ひ出したのであるから次の人の材料にもと考へて數人の幼児とどんぐりを拾ひに出かけた。細長いどんぐりが二三十個もおちてゐた。

お猪口もあり葉もおちてゐた。よい獲物をもつて幼稚園にかへつて来た。どんぐりの模様についてはこの次の時に書き残すこと、して、たゞ今はいてふの材料でもない季節である。

たゞその時にある材料をどらへて、その材料の取扱ひ方の一端を御紹介するまでであるのである。お正月に手に入りやすい材料にどんなものがあるであらうか。幼児たちに親しみやすいものの中から見つけ出すことも一つのおもひつきではなからうか。

誘導保育

菊池ふじの

お正月 お正月に家庭の中で行はれたであらう行事——例へば門松のこと、部屋々々の飾り、注連繩、神棚のお飾りのことなど——。いつたであらう處——例へば宮城前に頼づいたこと、元朝詣りのこと、親類縁者訪問のことなど、又お正月、みんなで遊んだであらう事共——双六、歌留多、羽根つき、トランプ、福笑ひ、ゲーム遊び等についてこちらが聞いてあげる。子供はお休みの面白かつたこと、嬉しかつたことを話し度くて仕方がないのであるからそれを上手に聞いて上げる、かう言ふといふ容易なやうであるが、誰にでも言ひ度いだけを言はせる、そして誰もが飽きないで靜肅に聞く、それも長い期間にはではなく、お正月のほとぼりの冷めない第三學期始業一週位の間の中で、と考へると、その實際的具體的方法はなかに六ヶ敷い。さうしたら徹底出

来るかと考へて見るけれども、案も無く、遂、話し度い人だけに話させて見たり、聞き度い人だけで聞いたり、といふ風になつてしまつてゐる。

期待効果が何々、繼續時間が何々と保育案には出てゐるけれども、このお正月のことを話し合ふだけな誘導保育とは言ひ難い。たとこの週一週間は、どの仕事にも、お話にも、遊びにも、お正月のことが盛り立てられてゐる、と言ふよりは、子供の全生活のどの部分にもお正月の氣分が満ち々々であるので、それをあえなく葬らぬやう。幼児達の親しんで呉れる先生ともう少し長く幼稚園でのお正月を楽しむやうといふ氣持が含まれてゐることゝ思はなければならぬ。

紙箱の家 紙箱の家は前からよく作られた。幼稚園の作業として、製作が容易である事、子供の興味がある事、材料の入手が容易であること等が原因であらう。今の時代のやうに物資を出来るだけ節約しなければならぬ時世になつても、まだ、各幼児に空箱の一つ位持つて來させる事は無理なことではあるまいと思ふ。

扱てみんが思ひ思ひの箱を持つて來たら、その箱の恰好と、子供の希望を聞いて、適當な店をその子供と協議の上で決める。例へば丸い帽子の空箱の人にはテバートな、四角な高さの高い箱の人にはビルディングなといふやうに。この店の種類を前から通して見てゐると、實に世の中が子供心に映じてゐることが分る。

子供は社會に敏感であるといふことの實に、證據になると思ふのである。今年の紙箱の街には多分何々配給所といふやうなのが

現はれるであらう。

製作に際しては、窓を切り抜くとか棚をつける、陳列臺を置くなどゝいふ事は、全然子供獨りでといふことは大抵の幼児には出來ないであらうから、どうしても先生と幼児との協同製作にしなければならぬ。相當手傳つてしまつて、どうかと思ふぐらゐでも、子供は一向平氣なもので、どの子もどの子も全部自分が發表した積りでゐる。それでいゝのである。手傳はれることによつて、自分の表現欲求が充分に満足させられるのである。

又、そういふ事は繊細にするには手も足りないし、繊細にすべきでもない。大まかに貼りつけてもよい。縫ひつけてもよい。材料にしてもごく大まかに材料も混淆主義でいき度い。こゝで注意しなければならぬと思ふのは、先生と子供と一回だけ熱心に協同製作をしてしまつて、もうそれで完全だと打ち切つてしまふ傾向になり勝ちであるが、子供はそれですつかり出來た積りでゐても仕方がないが、保母は各自の作業進度を胸に置いて、丹念に持續繼續させて或る程度緻密にし、餘りにもお座なりな製作に終つてしまはないやうに導き度いし、保母自身の心の中に、それだけの興味性、創造性をいつまでも持ち續けてゐたいといふことである。こゝでも熱意のある保母、創造性の豊かな保母といふことが、又しても希はれるのである。

それから、この主題に於ては、製作後の、陳列といふことが重要な事柄である。製作後では遅過ぎる。製作中、家の店の様子が大體ついたらもう陳列しておく。街らしく竝べて置けるやうに保

育室の中の調度を鹽梅する。或はまだ何もしてゐない箱を、大體出來て街らしく並べた間へ置くことによつて、或時はその店の暗示されることも尠くはない。並べることである。街らしく並べてやることである。

この主題の期待効果は、社會生活の興味喚起と觀察である。その子にとつて又先生にとつて、作らうとする店の觀察がはつきりしない時には、仕事半ばでもいいから、子供と一緒に見に行く。期待効果の三は製作。つまり手技としての効果や、又創作性のめざめといふやうな處にあると思ふ。

繼續作業時間は、大いに馬力をかけて、組の全部の子供が完成してしまふには少くとも三週間は必要であらう。

節分 時局下の節分、物資節約時の節分。從來大豆、南京豆、ホール等をふんだんに用ゐてゐた代りに、新聞粘土のお豆を作りました。お三寶とかお面、もつと念入りには袴といふやうなもの製作資材も、そここゝに轉つてゐる厚紙、包み紙を念入りに注意して見れば、これ位の製作に要する物資はまだ、身の廻りにころがつてゐる。それを利用すること。また、今年、豊かな例年に劣らない豆撒きが出来る筈。そして身に迫る惡疫を退治して、この一年も健康に益々ハリ切らう。この主題の期待効果は、年中行事の興味と製作。繼續時間は二日間位。豆撒きがすんだらあとはさつぱりとおしまひ。

大東亞戰爭が始まつて正に一年。この一ヶ年は、誠に國運を賭しての、絶大なる意義に満ち満ちた一ヶ年であつた。

去年のけふ、朝の、大本營發表のあのニュースを聞いて、國を案ずる異常なる興奮と緊張とに胸をふるはせて登壇した。

「日本とアメリカと戰爭が始まつたんだよ」と、元氣な聲で言つて保育室へは入つて來た子供達。子供ながらに緊張してゐたことは争へない。

宣戰の御詔書が下つた。拜誦して、御宸襟の程を恐察申上げ、感激の涙の流れるのを如何とも出来なかつた。そして女ながらに血湧き肉躍るのを止め難かつた。やがて報じ來たハッピー攻撃、マレー上陸の第一の捷報

に、子供等と、同僚達と相擁して喜んだあの日の感激と緊張とそして覺悟とは、終生忘れられないし、又忘れてはならない。

爾來一年。この幼児達を、天皇陛下の御橋として、國土防衛の第一の戰士として如何に育つべきか、といふ考は、吾等保育人の頭から片時も離れない。保育界は皆眞摯なる愛國の熱情を傾けてこの問題の簡明につとめた。各保育會の研究發表、協議題、談話題等何れも適切なる今時局に即した主題でないものはなかつた。

多事なりしこの一年も將に暮れやうとしてゐる。來るべき戰爭第二年に於ても、渾身の勇を振つて、吾等の職域、保育道への精進に精根を傾けなければならぬと思ふ。

皆様の御自重を切望して撰筆する。(十二月八日、編輯部)